

平成23年度第2回帯広市産業振興会議 議事録要旨

平成23年11月9日(水) 17:00~19:30

帯広市図書館多目的視聴覚室

1. 開会・開会挨拶

2. 講演 慶應義塾大学 教授 植田 浩史 様 テーマ 「中小企業振興施策の今日的課題」

3. 議事

(1) 産業振興ビジョン事業シート(案)について

○事務局から、産業振興ビジョン事業の取組状況について今後産業振興会議で議論していく上で、案で示しているシートの様式の内容で足りうるかどうかについて、ご意見いただきたい旨説明があり、その後、担当課よりビジョン事業の概略説明を行い、委員から以下のような発言があった。

(委員)

総合計画のように、例えば必要とされている事業かどうかを5段階で表したり、着手したかどうかではなく達成度合いの項目があった方がいいのでは。

(事務局)

成果指標の数値等は工程表の右側にでているが、事業ごとの成果指標とはなっていない、それぞれを数値化することは難しい。達成度合いについては、総合計画で市民実感度調査をやっているものはあるが、会議の中で多面的に検証していただければと思っている。

(委員)

必要されているのかどうかについては、アンケートなどを行うのが理想だと思うが、それぞれを効率で考えると難しいのかと思う。

(委員)

第1期でもあったが、資料をどう使うか。全ての事業を1つずつチェックしていくということにはいけない。数値目標は大事だと思うが、無いものについては、わからなければこちらから知りたい点を聞いていく。進捗だけのチェックでは我々の役割は果たされないと思う。会議の前に資料をいただいて我々もできるだけチェックをする、それだけではなく、新たなものを提案するという事に時間を割いた方が良いと思う。

(委員)

フォーマットには限界がある、市の方から帯広・十勝の観点でこれが外せないというものをピックアップし、また企業としても外せないというものを持ち寄ったうえで、意見を

聞いたりしたらよいのではないか。

(委員)

それではフォーマットについては、これでよいということで、事業として外せないものをピックアップするということを次回の宿題としたいと思う。

(2) その他

(委員)

十勝は結束力があり勉強熱心であり、他地域に比べ経済の落ち込みが少ないというのを感じる。勉強会やセミナーを色々なところで開催している。やらないよりはやった方がいいかもしれないが、主催としてやるべきものと他機関のものを紹介するなど強弱をつけてはどうか。情報を整備し、必要かどうかの判断材料はあったほうがいいのかと思っている。

(委員)

必ずしも全て自前でやる必要はないと思う。そういう意見も次回だしていただければと思います。

4、閉会

事務局より、次回は1月に開催予定の旨発言があった。